

(添付資料)

4. 中間連結財務諸表等

比較連結損益計算書（厚生年金基金代行返上益一括独立表示 ※）

(単位：百万円)

科 目	18年9月中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日		17年9月中間期 ※ 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日		18年3月期 ※ 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
売 上 高	329,847	100.0	285,362	100.0	626,782	100.0
売 上 原 価	201,745	61.2	168,120	58.9	373,393	59.6
売 上 総 利 益	128,102	38.8	117,242	41.1	253,389	40.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	79,983	24.2	73,185	25.6	152,675	24.3
試 験 研 究 開 発 費	24,082	7.3	24,712	8.7	50,501	8.1
厚 生 年 金 基 金 代 行 返 上 益	-	-	△ 11,915	△ 4.2	△ 11,915	△ 1.9
営 業 利 益	24,037	7.3	31,260	11.0	62,128	9.9
支 払 利 息 (△ 受 取 利 息) - 純 額 -	△ 406	△ 0.1	△ 297	△ 0.0	△ 609	△ 0.1
為 替 差 損 - 純 額 -	654	0.2	570	0.2	1,306	0.2
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -	△ 6,101	△ 1.9	△ 768	△ 0.3	△ 2,921	△ 0.5
税 引 前 純 利 益	29,890	9.1	31,755	11.1	64,352	10.3
法 人 税 等	12,735	3.9	13,806	4.8	27,238	4.4
(当 期 税 額)	(9,737)		(9,671)		(23,276)	
(繰 延 税 額)	(2,998)		(4,135)		(3,962)	
少 数 株 主 損 益	76	0.0	20	0.0	150	0.0
持 分 法 投 資 損 失	2,286	0.7	-	-	-	-
会 計 方 針 変 更 に よ る 累 積 影 響 額 調 整 前 純 利 益	14,793	4.5	17,929	6.3	36,964	5.9
会 計 方 針 変 更 に よ る 累 積 影 響 額 (税 効 果 考 慮 後)	-	-	1,201	0.4	1,201	0.2
中 間 (当 期) 純 利 益	14,793	4.5	16,728	5.9	35,763	5.7

(注) ※1. 17年9月中間期および18年3月期の厚生年金基金の代行返上に伴い認識した損益（債務返還差額を除く）は、米国会計基準に従い売上原価、販売費及び一般管理費および試験研究開発費に含めて表示されますが、当年度との比較を容易にするために、上表は当該損益を債務返還差額とともに「厚生年金基金代行返上益」として一括して独立表示しております。なお、米国会計基準に従い当該損益（債務返還差額を除く）を売上原価、販売費及び一般管理費および試験研究開発費に含め、債務返還差額を独立表示すると次ページのとおりととなります。

(注) 2. 17年9月中間期および18年3月期より年金会計における予測給付債務および年金資産の測定日を変更しました。この変更に伴い、会計方針変更による累積影響額（税効果考慮後）として1,201百万円を計上しました。

比較連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	18年9月中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日		17年9月中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日		18年3月期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	329,847	100.0	285,362	100.0	626,782	100.0
売 上 原 価	201,745	61.2	184,095	64.5	389,368	62.1
売 上 総 利 益	128,102	38.8	101,267	35.5	237,414	37.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	79,983	24.2	81,820	28.7	161,310	25.8
試 験 研 究 開 発 費	24,082	7.3	29,526	10.3	55,315	8.8
厚生年金基金代行返上に伴う 債 務 返 還 差 額	-	-	△ 41,339	△ 14.5	△ 41,339	△ 6.6
営 業 利 益	24,037	7.3	31,260	11.0	62,128	9.9
支 払 利 息 (△ 受 取 利 息) - 純 額 -	△ 406	△ 0.1	△ 297	△ 0.0	△ 609	△ 0.1
為 替 差 損 - 純 額 -	654	0.2	570	0.2	1,306	0.2
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -	△ 6,101	△ 1.9	△ 768	△ 0.3	△ 2,921	△ 0.5
税 引 前 純 利 益	29,890	9.1	31,755	11.1	64,352	10.3
法 人 税 等	12,735	3.9	13,806	4.8	27,238	4.4
(当 期 税 額)	(9,737)		(9,671)		(23,276)	
(繰 延 税 額)	(2,998)		(4,135)		(3,962)	
少 数 株 主 損 益	76	0.0	20	0.0	150	0.0
持 分 法 投 資 損 失	2,286	0.7	-	-	-	-
会計方針変更による累積影響額 調 整 前 純 利 益	14,793	4.5	17,929	6.3	36,964	5.9
会計方針変更による累積影響額 (税 効 果 考 慮 後)	-	-	1,201	0.4	1,201	0.2
中 間 (当 期) 純 利 益	14,793	4.5	16,728	5.9	35,763	5.7

(注) 1. 17年9月中間期および18年3月期の厚生年金基金の代行返上に伴い認識した損益(債務返還差額を除く)は、米国会計基準に従い売上原価、販売費及び一般管理費および試験研究開発費に含めています。代行部分の累積給付債務と関連する年金資産との差額41,339百万円を厚生年金基金代行返上に伴う債務返還差額として計上しました。さらに代行部分に対応する将来昇給分である予測給付債務と累積給付債務の差額8,870百万円を純期間年金費用の戻しとして、また未認識保険数理差異残高の代行部分相当額の一括償却38,294百万円を清算損失として認識し、将来昇給分の戻しと清算損失の合計額29,424百万円のうち、15,975百万円を売上原価に、8,635百万円を販売費及び一般管理費に、4,814百万円を試験研究開発費に計上しました。

(注) 2. 17年9月中間期および18年3月期より年金会計における予測給付債務および年金資産の測定日を変更しました。この変更に伴い、会計方針変更による累積影響額(税効果考慮後)として1,201百万円を計上しました。